



☆☆ 1年生を迎える会 ☆☆



4月27日（木）に「1年生を迎える会」を行いました。この会は、新しく十四山東部小学校の仲間になった1年生をお祝いし、全校児童が学年をこえて仲良くなるように6年生が中心となって企画・準備をして、実施しました。



「さんぽ」の曲が流れる中、3、4年生が作った花のアーチの下を1年生が6年生に手をつないでもらい笑顔で元気に入場しました。

最初に、1年生が十四山東部小学校のことを早く知ることができるよう「十東小〇×クイズ」を行いました。「けがが多いのは、教室である」



「鬼頭先生の好きな給食のデザートはおかしな目玉焼きである」など学校のことや先生のことについての問題が用意され、楽しく答えることができました。

続いて、ゲーム「ジャンケン列車」を行いました。ジャンケンをするごとにつながりが長くなり、1年生はみんなと一緒に繋がって動くことがとても楽しかったようです。



いろいろな出し物が終わったら、プレゼント渡しです。



2年生は自分たちが1年生の時に育てて収穫したアサガオの種、5年生がリングとメダルを作って組み合わせた首飾りをそれぞれプレゼントしました。種の入った袋やメダルに「なかよくしようね」などのメッセージが書いてあり、もらった1年生はうれしそうに見ていました。



次に全校で校歌を歌いました。入学したばかりの1年生ですが、もう校歌を覚え、2年から6年生にも負けない大きな声で元気に歌い、全校が一つになることができました。その後、1年生がお礼の言葉を分担して言うことができました。堂々と言葉を言う1年生の様子を、2年生以上のみんなが感心して見ていました。



最後に私から在校生への感謝の気持ちと新入生への励ましの言葉を贈って、とても楽しい「1年生を迎える会」が終わりました。

1年生は、お兄さんお姉さんからもらったプレゼントと優しい心をもって、花のアーチの中をうれしそうに退場していきました。1年生から6年生まで全員の心が一つになった、とてもすばらしい会でした。



校長先生の話

今、1年生のみんなは「えがお いっぱい」になっています。これは、みんなと一緒にゲームやクイズをし、心のこもったプレゼントをもらったからです。

そして、2年生から6年生のみんなもやはり「えがお いっぱい」になっています。これは、自分たちががんばったことでこうして1年生が喜んでくれたからです。このように、お互いのことを考え、また、考えてもらっているとき、だれでもうれしくて「えがお いっぱい」になります。

これからも、同じ学年の人と一緒に、また違う学年の人と一緒にすることがたくさんあります。こうして一緒に何かをするときに大切なことは、いつも相手のことを考えながらということです。今年の合言葉は、『進んで』です。これからも『進んで』相手のことを考えた行動を実行し、またそれに対する「ありがとう」を『進んで』言えるようにしていきましょう。そうすると、どんどん仲良くなり、もっと楽しくなります。みんなで、いつも「えがお いっぱい」の楽しい十四山東部小学校を作っていきましょう。



運動会応援合戦練習

運動会では、今年も赤白対抗の応援合戦を行います。

そこで6年生が新学期スタートするとすぐに曲を決め、振り付けを考えていきました。今週は、それを4、5年生に伝え練習を進めていきました。

隊形移動やステップ、手の動かし方など6年生が熱心に教えている姿は、大変頼もしく感じました。きっと、今年の運動会も盛り上がるものと思います。当日を期待してください。

